

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 9 月 18 日 (2014.9.18)

【公開番号】特開 2013-38515 (P2013-38515A)

【公開日】平成 25 年 2 月 21 日 (2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2013-009

【出願番号】特願 2011-171290 (P2011-171290)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

【F I】

H 0 4 N 1/387

G 0 9 C 1/00 6 6 0 D

H 0 4 L 9/00 6 0 1 E

H 0 4 L 9/00 6 0 1 A

H 0 4 N 7/173 6 3 0

G 0 6 F 12/14 5 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 31 日 (2014.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

著作者情報を入力する入力手段と、

前記著作者情報に応じた第 1 の暗号鍵で暗号化されたコンテンツを前記第 1 の暗号鍵に対応する復号鍵で復号して表示コンテンツとして表示させる表示制御手段と、

前記表示コンテンツに追加コンテンツを追加する追加手段と、

前記表示コンテンツに対する前記追加コンテンツの追加によるコンテンツの変化量を算出する算出手段と、

前記算出手段により算出された前記変化量に応じて、前記追加コンテンツを変更する変更手段と、

前記表示コンテンツの復号に用いられた前記復号鍵に対応する前記著作者情報と、前記追加コンテンツに対応する著作者情報として前記入力手段により入力された著作者情報とに応じて、前記表示コンテンツを暗号化するための前記第 1 の暗号鍵と異なる第 2 の暗号鍵で前記変更手段により変更された前記追加コンテンツを暗号化する暗号化手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

コンテンツと前記コンテンツの利用を許可する利用者情報とを対応づけて保持する保持手段と、

前記保持手段に保持された情報を用いて、前記表示コンテンツと前記追加コンテンツとのうち、前記利用者情報による利用が許可されているコンテンツを判定する判定手段と、

前記判定手段により利用が許可されていると判定されたコンテンツを、前記コンテンツ

に対応する著作権情報に応じた復号鍵で復号する復号手段とを更に有することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

コンテンツの表示画面を撮像する撮像手段を更に有し、

前記暗号化手段は、前記撮像手段による前記表示画面に対する第 1 の撮像で得られる第 1 の撮像画像内に存在せず、前記撮像手段による前記表示画面に対する第 2 の撮像で得られる第 2 の撮像画像内に存在する前記追加コンテンツを、前記第 2 の撮像に応じて前記入力手段により入力された前記著作権情報に応じた前記第 2 の暗号鍵で暗号化することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記変更手段は、前記算出手段により算出された前記変化量が閾値以上である場合、前記追加コンテンツを変更することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記追加コンテンツを追加する著作権情報とは対応する著作権情報が異なる引用データが、前記追加コンテンツとして追加された場合、前記算出手段は、前記コンテンツの表示画面のサイズに対して前記引用データが占める割合を算出し、

前記変更手段は、前記算出手段により算出された割合が所定割合以上である場合、前記引用データを削除又は縮小することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記表示コンテンツの内容を変更する編集手段を更に有し、

前記算出手段は、前記編集手段の変更による前記表示コンテンツの変化量を算出し、

前記変更手段は、前記算出手段により算出された前記変化量に応じて、前記編集手段による変更内容を縮小し、

前記暗号化手段は、前記変更手段により変更内容が縮小された表示コンテンツを前記第 1 の著作権情報に応じた前記第 1 の暗号鍵で暗号化し、前記編集手段による変更に対応する著作権情報として前記入力手段により入力された第 3 の著作権情報に応じた第 3 の暗号鍵で暗号化することを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

情報処理装置が行なう情報処理方法であって、

著作権情報を入力する入力工程と、

前記著作権情報に応じた第 1 の暗号鍵で暗号化されたコンテンツを前記第 1 の暗号鍵に対応する復号鍵で復号して表示コンテンツとして表示させる表示制御工程と、

前記表示コンテンツに追加コンテンツを追加する追加工程と、

前記表示コンテンツに対する前記追加コンテンツの追加によるコンテンツの変化量を算出する算出工程と、

前記算出工程により算出された前記変化量に応じて、前記追加コンテンツを変更する変更工程と、

前記表示コンテンツの復号に用いられた前記復号鍵に対応する前記著作権情報と、前記追加コンテンツに対応する著作権情報として前記入力工程により入力された著作権情報とに応じて、前記表示コンテンツを暗号化するための前記第 1 の暗号鍵と異なる第 2 の暗号鍵で前記変更工程により変更された前記追加コンテンツを暗号化する暗号化工程とを含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 8】

コンテンツと前記コンテンツの利用を許可する利用者情報とを対応づけてメモリに保持させる保持工程と、

前記メモリに保持された情報を用いて、前記表示コンテンツと前記追加コンテンツとのうち、前記利用者情報による利用が許可されているコンテンツを判定する判定工程と、

前記判定工程により利用が許可されていると判定されたコンテンツを、前記コンテンツ

に対応する著作権情報に応じた復号鍵で復号する復号工程とを更に含むことを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理方法。

【請求項 9】

前記情報処理装置の撮像手段が、コンテンツの表示画面を撮像する撮像工程を更に含み

前記暗号化工程では、前記撮像手段による前記表示画面に対する第 1 の撮像で得られる第 1 の撮像画像内に存在せず、前記撮像手段による前記表示画面に対する第 2 の撮像で得られる第 2 の撮像画像内に存在する前記追加コンテンツを、前記第 2 の撮像に応じて前記入力工程により入力された前記著作権情報に応じた前記第 2 の暗号鍵で暗号化することを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の情報処理方法。

【請求項 10】

コンピュータを請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の情報処理装置は、著作権情報を入力する入力手段と、前記著作権情報に応じた第 1 の暗号鍵で暗号化されたコンテンツを前記第 1 の暗号鍵に対応する復号鍵で復号して表示コンテンツとして表示させる表示制御手段と、前記表示コンテンツに追加コンテンツを追加する追加手段と、前記表示コンテンツに対する前記追加コンテンツの追加によるコンテンツの変化量を算出する算出手段と、前記算出手段により算出された前記変化量に応じて、前記追加コンテンツを変更する変更手段と、前記表示コンテンツの復号に用いられた前記復号鍵に対応する前記著作権情報と、前記追加コンテンツに対応する著作権情報として前記入力手段により入力された著作権情報とに応じて、前記表示コンテンツを暗号化するための前記第 1 の暗号鍵と異なる第 2 の暗号鍵で前記変更手段により変更された前記追加コンテンツを暗号化する暗号化手段とを有することを特徴とする。